



市議会だより

ごとう

第70号

令和4年
2月1日発行

編集・発行
五島市議会議会広報特別委員会
五島市福江町1番1号
TEL.0959-72-7923



貝津の獅子こま舞 (県指定無形民俗文化財)

1月3日、三井楽町貝津地区の神社では、男獅子と女獅子、天狗の面をつけた猿田彦が太鼓と笛に合わせて舞を奉納し、1年の安全と無病息災を祈願しました。

目次

補正予算の主な事業	P 2
一般質問	P 3～P 7
委員会審査	P 8
審査結果、意見書・決議	P 9
賛否一覧表、編集後記	P 10

12月定例会のあらまし

12月定例会は、11月30日から12月23日までの24日間の日程で開催されました。

開会日の11月30日に、令和2年度決算13件を認定。12月6日から8日には、10名の議員が一般質問を行い、8日及び21日には、先議を求められた市長提出議案の令和3年度補正予算をそれぞれ1件可決。12月9日から21日までは、各常任委員会が開かれ、付託された議案について審査を行い、最終日の23日に、市長提出議案の令和3年度補正予算、条例等23件を可決し、令和3年度決算1件を認定。

さらに、議会議案2件、決議1件についても、それぞれ審議決定されました。

補正予算の主な事業

新型コロナウイルス感染症対策事業

新型コロナウイルス感染症の影響に伴う公の施設の指定管理業務委託料の追加

412万円

指定管理施設のうち、新型コロナウイルス感染症の影響に伴い、利用料金収入等の減少で損失が生じた指定管理者に対し、管理部門における損失分の一部を補填する。

感染症対策等の学校教育活動継続支援事業

1千910万8千円

学校教育活動の継続のため、児童生徒や教職員等の感染症対策に必要な消毒液や非接触型体温計、空気清浄機などを国の補助制度を活用して購入する。

子育て世帯等臨時特別支援事業

4億6千916万8千円

新型コロナウイルス感染症により影響を受けている子育て世帯に対する臨時特別的な給付措置として、子育て世帯への臨時特別給付金（対象児童1人につき現金10万円）を支給する。

※申請が不要なプッシュ型は12月に支給済



その他の事業

ふるさとづくり寄附金事業

5千743万4千円

9月までの実績により寄附金額の増加が見込まれるため、今年度の寄附見込額を3億3千万円とし、基金への積立金3千万円のほか、寄附受付等業務の外部委託などに伴う事務経費を追加計上する。

医療的ケア児非常用電源装置購入費助成事業

80万円

医療的ケア児及びその家族に対する支援に関する法律の施行に伴い、医療的ケア児の生命の危機の低減と家族の不安解消を図るため、医療機器を作動させるための非常用電源装置の購入費用を助成する。

特定地域づくり事業協同組合事業

153万8千円

繁忙期などに人手が欲しい事業者側と正規雇用を希望する求職者の雇用のミスマッチを解消し、地域の担い手となる人材を確保することを目的とした特定地域づくり事業協同組合について、運営費の助成を行っているが、事業の活用が進み、派遣職員の雇用も増加していることから、補助金を追加計上する。

地域資源の磨き上げ及び宿泊施設の有用性実証事業

9千万円

宿泊施設との連携を強化しながら受入体制の整備を行い、もう1泊したいと旅行者に思わせるような地域の魅力の磨き上げを行うことを目的として、食文化、地域資源及び宿泊所等の有用性について調査・分析するため、全国各地から本市へのモニターツアーを実施する。

福江文化会館施設設備整備事業

7千300万3千円

国の無線設備規則の改正に伴い、福江文化会館の無線設備を、令和3年度から2か年で新規格に対応した設備へ更新する計画としていたが、施設内の環境改善を早期に図るため前倒しして実施することとし、必要な経費を追加計上する。

農林水産業施設、公共土木施設災害復旧事業

6千233万円

令和3年8月11日から26日にかけての豪雨により、農地、農林業施設、道路及び河川において災害が発生したため、復旧を行う。

一般質問 市政を問う

コードを読み取ると一般質問の動画が見られます。



草野 久幸 議員



問 カネミ油症第三者行為に伴う賠償金の他自治体の状況は

答 他自治体は増えていない

質問 カネミ油症第三者行為に伴う賠償金について、①市の決算では毎年増加し、令和2年度は約23億円になっているが、他の自治体では、債権として増えていないのではないのか。五島市と他の自治体の取扱いのどちらが正しいのか。
②特例的に国・県の負担金等の対象とする措置が講じられているが、これを考慮した五島市の本当の負担額は。③五島市発行のカネミ油症事件記念誌には、国の責任だと記載されているが、市長の考えは。

答弁 ①金額が増加しているのは、五島市と県後期高齢者医療広域連合で、県外の自治体では現在、第三者行為として取り扱っていないため、増えておらず、過去の分を3年に一度、督促しているとのこと。

とである。五島市は法令に基づいて適切に処理していると考えており、各自治体の判断で対応がなされている。②推計値では、カネミ倉庫への賠償金請求額約23億円のうち、国・県の負担金等を除いた5億2千78万円が、実際の五島市の負担額である。③国は、責任を認めない

まま今日に至っている。カネミ油症について

は、国にも責任があると思



1973年のカネミ倉庫本社 (撮影：河野裕昭氏)

教職員住宅の利活用を

質問 空き家になった教職員住宅については、土地つきで売却するなど、利活用を進めるべきでは。

答弁 移住促進のため空き家バンクを運営しているが、登録物件が減少している。入居が見込めず、補助金返還の制約がない住宅等は、教職員住宅から除外し、一般にも貸し出し、希望があれば購入いただくなど有効活用を検討したい。



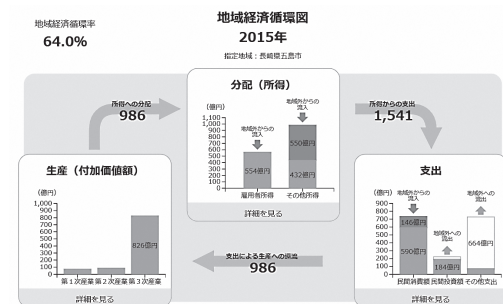
中西 大輔 議員



問 五島市の経済構造に対する分析は

答 市独自の経済分析は行っていない

質問 市長が、穴の開いたバケツだと言っていた五島市の経済構造に対して、収入と支出に関する市独自の経済分析は行っているのか。
答弁 国が提供する自治体ごとの地域経済循環分析で分析されているが、詳細な根拠が示されていないため要因分析まで至っていないのが現状であり、市独自の経済分析は行っていない。



地域通貨導入に向けた考えは

質問 地域内経済循環の向上と地域課題の解決を図るため、地域通貨制度の導入が有効だと考えるが、導入に向けた考えは。

答弁 五島市のバケツの穴は拡大しているが、本土と比べると地域循環型の経済になっており、地域通貨は穴の縮小には結びつかないと思う。また、これまでに全国で800以上の地域通貨の取組が行われてきたが、多くが消滅している。制度の維持には一定規模の利用と経費が必要であることから、現時点で市が主体となった地域通貨の導入は難しい。

自動運転導入に向けた検討は

質問 交通課題が多く、物理的に閉鎖された空間である離島では、自動運転の活用に取り組みやすい面もあると思うが、市内での導入に向けた検討は行っているのか。

答弁 他の地域で自動運転バスの実証実験が行われているが、実現にはまだまだハードルがあると認識している。先進地の情報などについて、交通事業者と情報共有を図りながら研究していきたい。



片峰

議員 亨



問 道路脇の雑木伐採のため、伐採特区などの研究を

答 法律の制限があるため、特区による対応は困難である

質問 市内の道路では、雑木がは

み出しているところが数多く見られ、車の通行に支障を来している。土地所有者等に伐採を求めても改善されず、いつ事故が起きてもおかしくない状況にある箇所が多い中、土地所有者等の許可を得ずにいつでも伐採ができるよう、樺特区やどぶろく特区のように、伐採特区などの研究ができないか。



道路脇からはみ出した雑木

答弁 樹木の所有権が土地所有者等にあり、道路管理者側では伐採できないため、所有者での対応をお願いしているが、所有者の特定が困難な箇所も多いことから、道路管理者としては必要最低限の剪定を行っている。民法の規定や道路法において制限がなされているため、今のところ、特区による対応は困難である。

ごみの減量化への取組は

質問 市民1人当たりのごみの排出量がなかなか減らない中、事業所や店舗などの協力も重要だと考える。例えば、スーパーなどの商品には、購買意欲を高めるためだ

と思うが無駄なラッピングが多いと感じる。減量化に向けて、協力を求めるべきでは。

答弁 市としても引き続き、事業所等へごみの減量化についての協力を求めているが、ラッピングは衛生面や見栄え等が考慮され二重になっており、消費者もそれを求める傾向が見受けられる。減量化のためには、事業者の協力に加え、市民自らが、簡易包装の商品を選択する意識の醸成が必要である。



松本

議員 晃



問 奈留葬斎場の火葬に時間差が生じる原因は

答 平成21年度に1号炉を更新したためである

質問 奈留葬斎場について、①2

つの火葬炉の火葬に要する時間に差が生じる原因は。②今後の存続に対する市長の考えは。

答弁 ①平成21年度に1号炉を更新したことが原因である。毎年約50件の火葬を実施しているが、1号炉のみの稼働で対応できており、2号炉については、緊急時に使用する位置づけとしている。②奈留島は二次離島であり、また一定の人口規模を有しているため、現在



奈留葬斎場

の施設を大切に使用しながら維持したいと思っており、廃止する考えはない。

五島中央病院における8月の診療制限実施の理由は

質問 五島中央病院において、8月17日から31日まで新患外来の受付を中止したが、①その理由は。

②奈留地区など二次離島地区の住民への周知が不足していたのではないか。

答弁 ①内科、整形外科、外科の新患外来の受診の中止が行われたが、当時は市内において、新型コロナウイルス感染者のクラスター発生などで、入院患者数も最大確保病床数の50%を超えていた。入院・治療を必要とする感染者への対応を行う医療従事者を確保する必要があったため、やむを得ず行った措置だと聞いている。②診療制限を知らずに来島し、病院の窓口まで出向いた事例が複数あったとの指摘を受け、市では、診療制限の実施について、ホームページや二次離島の待合所への掲示などを行った。今後は病院と連携し、周知を徹底したい。



網本 定信
議員



問 五島市を肉用牛の一大産地にするための考えは

答 要望等があれば、必要に応じた施策を講じる

質問 畜産業について、①五島市を肉用牛の一大産地にするための考えは。②富江地区における養豚場の悪臭対策は。

答弁 ①五島市の肉用牛経営は繁殖が主で、畜産クラスター構築事業を核に若手農家の参入も進み、繁殖雌牛5千頭の目標を達成したが、肥育は、ごとう農協の3つの施設のみとなっている。肥育牛の増頭が進めば、所得向上のほか五島牛を核とした市全体のPRや地域活性化



五島牛

につながるため、農家から要望等があれば、必要に応じた施策を講じる。②悪臭対策を行った際は、事業者から地元町内会長へ報告されている。また、市へ苦情等があれば、現地の確認、事業者への事情聴取を行い、必要に応じ指導等を行っている。

ツバキ実の豊作への対応は

質問 2年連続の豊作で、製油所からツバキの実を買い取ってもらえないと聞くが、市の対応は。

答弁 市内の別の製油所を紹介していたが、10月中旬にはどこもいっぱいである状況になった。よく乾燥させ保管した実は、来年の買取りが可能ということなので、製油所へ予約の相談をし、梅雨時期の管理に注意するよう案内した。

新幹線開業に伴う取組は

質問 2022年秋頃の西九州新幹線開業に伴う観光入り込み客数増加への取組は。

答弁 開業に合わせて、JRグループと佐賀・長崎両県が大型観光キャンペーンを開催する予定であり、連携して観光入り込み客数の早期回復に向けて邁進していく。



荒尾 正登
議員



問 佐世保航路復活に対する市長の思いは

答 約1年5か月間で3万1千490人の利用があり、ぜひとも欲しい航路である

質問 佐世保航路復活の必要性を感じているか。行動しないと何も変わらない、政治家・野口市太郎としての行動力で風穴を開けるべく関係自治体にも話をしてほしい。

答弁 就航していた約1年5か月間で3万1千490人の利用があり、地域住民のみならず、帰省客や観光客等の移動手段としても利便性の高い航路だった。以前、九州商船に運航を要望した際は、困難との回答であったが、ぜひとも欲しい航路であり、県や佐世保市とも良い手だてがないか話したい。

新たなスポーツ大会の計画は

質問 3大スポーツイベントに並ぶような新たなスポーツ大会として、①昨年度初開催したマラニック大会は、今年度なぜ大幅見直し

となったのか。②グラウンド・ゴルフ大会の県大会開催の可能性は。
答弁 ①12月の実施となり、気温が低くなること、またコロナ対策で給水ポイントを減らすため、距離を短くした。②協会の協力を得て、市独自の県内参加者対象の大会を計画していたが、新型コロナウイルスの感染拡大で見送り、来年度開催に向けて準備を進めることとした。

中央公園屋外相撲場の今後は

質問 昨年度の決算審査で、活用されていないスポーツ施設の見直しを指摘・要望していたが、中央公園屋外相撲場の利用状況と今後の在り方についての検討状況は。

答弁 平成26年度を最後に利用実績がない。今後は、解体し跡地にテニスコート2面を整備する計画で、来年度から着手予定である。



跡地にテニスコート2面を整備予定の屋外相撲場

江川美津子
議員

問 ツバキ振興の今後の方針は

答 油の供給を増やせるよう取り組み、植栽も継続したい

質問 今年度は、カタシが豊作で、製油所の買取りが中止された。ツバキの苗を無料配布し植栽を推進してきたため、今後も収穫量の増加が見込まれるが、市はどういう計画を持っているのかと生産者から疑問の声が聞かれる。つばき振興計画の進捗状況と今後の方針は

答 平成21年度から5年間取り組んだつばき振興計画では、耕作放棄地の面積の解消、ツバキの実の生産量とともに、目標を超えており、ツバキ



耕作放棄地に植えられたツバキ

の島であることを全国にPRし、多くの人にツバキに触れてもらえるよう取り組みだ。今後は、実の買取りが増えるよう油の販売に力を入れ、供給を増やせるよう取り組みでいくとともに、植栽は耕作放棄地の解消にもつながるため、継続したい。

学校給食の地産地消の推進は

質問 学校給食での地場産品利用率が低下しているが、その要因と今後の方針は。

答 算出方法を金額ベースから重量ベースに変更したこと、年間を通じた地元産食材の安定確保が難しいことが要因になっている。今後も、地産地消を基本に食材確保に努め、利用率を高めていく。

気候非常事態宣言は

質問 温暖化の影響が顕著になっており、気温の上昇を抑えるためにみんなで取り組み必要がある。気候非常事態宣言をする考えは。

答 ゼロカーボンシティ宣言と趣旨的には同じだと思っており、同じ目標の宣言を2つする必要があるのか、市議会の意見や他市の取組状況を見ながら検討したい。

山田 洋子
議員

問 有料レジ袋の指定ごみ袋化への取組は

答 レジ袋として使える指定ごみ袋で実証事業を行っている

質問 昨年度の12月議会において提言していた、有料レジ袋の指定ごみ袋化への取組状況は。

答 デザインの作成、販売店舗への依頼等を行い、令和3年12月より福江地区のスーパ―2店舗において、燃やすごみ収集袋のと同じサイズでレジ袋として使える指定ごみ袋を1枚10円の値段で実証事業を行っている。需要がないことには、なかなか広がらないため、ぜひ利用していただきたい。



レジ袋として使える指定ごみ袋

独居高齢者等の見守り対策は

質問 独居高齢者や障がい者の見守り対策について、市の取組は。

答 社会福祉協議会、民生委員、老人クラブ連合会、新聞販売店などの37の団体で構成され、日頃から高齢者の見守り活動を実施している五島市高齢者見守りネットワーク連絡会があり、高齢者の異変発見時には、市の地域包括支援センターに連絡してもらうなど、フローチャートを設け、早急に対応できる支援体制を整えている。このほか、シルバーホンの貸出しや配食サービスにも取り組んでいる。

ハラスメント防止条例の制定を

質問 職員や議員のハラスメントの防止等に関して条例を制定している自治体があるが、五島市においても条例を制定できないか。

答 条例ではないが、五島市の職場におけるハラスメントの防止等に関する規程がある。今後、職員そして議員を含めて条例を制定するかどうかについては、市議会でも議論を深めてもらいたい。



相良 尚彦
議員

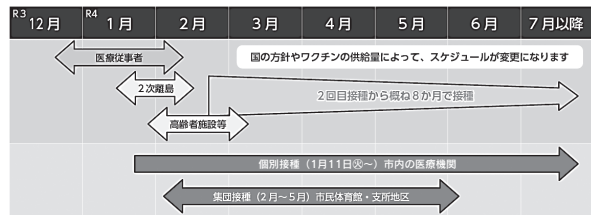


問 3回目の新型コロナウイルスワクチン接種計画は

答 2回目接種後8か月を経過する日までに終えたい

質問 新型コロナウイルスワクチンについて、①3回目の接種計画と対象者は。②追加接種時に、未接種者が新規接種を希望できるか。

答 ①国の方針やワクチンの配分状況を見ながら、2回目接種後8か月を経過する日までに終わらせる体制を整えたい。対象者は2回目接種を完了した18歳以上の希望者で、接種券は2回目接種後7か月をめどに発送し、医療機関での個別接種と集団接種により実施したい。②



ワクチン追加接種のスケジュール

無料で接種できるが、令和4年9月末までが接種期間となるため、早めに接種してほしい。

未接種者へのPCR検査費用の助成は

質問 ワクチン未接種者の経済、社会活動のために、PCR検査費用の助成ができないか。

答 国が、ワクチン・検査パッケージの利用促進に資するよう支援を行う準備を進めており、無症状で、基礎疾患や副反応の懸念など健康上の理由により接種ができない方または12歳未満の方が無料化の対象になる見込みである。

接種証明書のデジタル化は

質問 ワクチン接種証明書のデジタル化及び活用は。

答 スマートフォンで、専用アプリからマイナンバーカードによる本人確認を行い申請することで、ワクチン接種の電子証明書が発行される。イベントや飲食店などの行動制限の際の証明として国内外で活用できることから、ワクチン接種の促進にもつなげていきたい。



丸田 敬章
議員



問 第三者行為に伴う損害賠償金のうち、交通事故に係る未納額は

答 昭和59年の事故分も含め、946万1千613円である

質問 第三者行為に伴う損害賠償金について、①交通事故を起こし、けがを負わせた加害者が支払うべき被害者医療費の保険者負担分を市が一旦立て替え、加害者へ賠償請求したものであるという認識でよいのか。

答 ②交通事故に係る未納額は。③昭和59年に発生した事故分も含め、令和2年度末での未納額は946万1千613円となっている。

カネミ油症医療費立替え問題への認識は

質問 交通事故以外の第三者行為に伴う損害賠償金であるカネミ油症患者の医療費立替えが、重大な財政問題であると、担当部長が認識したのはいつからか。

答 カネミ油症事件については、

大まかに把握していたが、賠償金の問題など詳しいことについては、4月に現在の職を引き継いだから、担当の課長や職員からレクチャーを受けて学んだ。

決算年度	国民健康保険分①	老人保健分②	①+② 累計	前年度からの増加額
～H15	854,798,002	483,635,453	1,338,433,455	
H16	26,522,100	110,682,848	1,475,638,403	+137,204,948
H17	26,316,573	71,670,703	1,573,625,679	+97,987,276
H18	26,503,512	65,635,297	1,665,764,488	+92,138,809
H19	38,012,568	59,208,626	1,762,985,682	+97,221,194
H20	28,322,076	7,259,660	1,798,567,418	+35,581,736
H21	27,495,474		1,826,062,892	+27,495,474
H22	19,728,695		1,845,791,587	+19,728,695
H23	27,059,612		1,872,851,199	+27,059,612
H24	36,549,605		1,909,400,804	+36,549,605
H25	32,962,291		1,942,363,095	+32,962,291
H26	54,733,399		1,997,096,494	+54,733,399
H27	48,994,050	(注) 老人保健制度にかわり、後期高齢者医療制度が創設されたため、老人保健制度分の増加なし	2,046,090,544	+48,994,050
H28	47,563,550		2,093,654,094	+47,563,550
H29	60,307,331		2,153,961,425	+60,307,331
H30	58,722,393		2,212,683,818	+58,722,393
R1	47,620,653		2,260,304,471	+47,620,653
R2	42,225,838		2,302,530,309	+42,225,838
合計	1,504,437,722	798,092,587		

カネミ油症分損害賠償金の推移 (単位: 円)

カネミ油症医療費分に講じられた国県からの負担金は

質問 本来、第三者行為に伴う損害賠償金については国県負担金の対象外だが、特例的な措置によりカネミ油症医療費分に講じられたカネミ油症医療費分は、もし加害企業のカネミ倉庫が倒産した場合、どのように処理されるのか。

答 国と県から、その分の返還請求はないだろうと認識している。

委員会 分科会 の審査

総務水道委員会

条例等
議案第140号 五島市長及び副市長の給与に関する条例の一部改正について

提案理由 消防ポンプ自動車の更新等に伴う中間検査で不適切な事務手続等があったことに関し、市長の任命権者としての責任を明らかにし、給料を減額するため。

問 仕様書の見直し以外に再発防止策は取ったのか。

答 全職員を対象に服務規程遵守の徹底を図るための文書を出し、特に、利害関係者との接触に当たっては、市民の疑惑を招く行為をしてはならないことを周知した。

補正予算
支所庁舎の機械警備に係る機械設置のための委託料
425万4千円

問 警備業務を機械化する経緯は。
答 時間外には各支所へ警備員1名を配置しているが、届出などでの利用がほとんどないこと、機械化しても警備水準が下がるとは考えられないこと、毎年1千100万円

程度の経費節減が見込めることから機械化に至った。なお、奈留支所については、機械化後に異常事態が発生した場合、速やかに対応できる環境にないため、これまでどおりの警備体制となる。

問 機械化後の時間外に、間合せや届出があった場合の対応は。

答 死亡届については、現在は葬祭業者が行うことがほとんどで、本庁へ一本化することに問題はな
いと考えられる。その他の問合せや届出については、まずは本庁に連絡してもらい、場合によっては支所の職員が対応する予定である。

教育福祉委員会

条例等
議案第118号 五島市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正について

提案理由 国の基準の一部改正に伴い、特定教育・保育施設等における書面等の作成や保存、保護者等への説明のうち書面等で行うものなどについて、電磁的方法による対応ができるようにするため。

問 電子化が可能となることによるメリットと今後の課題は。

答 児童の体調や保育所での様子

を毎日連絡帳へ記入し、保護者と共有しているが、スマートフォンアプリ等を活用することでペーパーレス化が図られる。課題としては、写真を送信する場合に個人情報
の漏えいにつながるおそれがあるため、保育所から保護者への説明を徹底している。

補正予算
医療的ケア児非常用電源装置購入費助成事業
80万円

問 非常用電源装置の内容と補助対象を4件と想定した理由は。

答 自動車等での移動時に医療機器とつないで作動させるバッテリーと、災害時などの長時間の停電で電源を確保することができない場合に備える発電機で、家庭や児童の状況によって使用する医療機器が異なるため2種類を対象とした。また、医療用電源を必要とする児童が、把握している限りで4名いるため、全員を対象とした。

産業経済委員会

条例等
議案第121号 五島市附属機関の設置等に関する条例の一部改正について

提案理由 五島市農村環境計画策定委員会を市の附属機関として設置するため。

問 当該委員会を設置することになった経緯は。

答 これまでは、合併前の旧市町で策定した田園環境整備マスタープランを活用してきたが、策定から長期間経過し、市町合併後の実情に沿った新たな計画の策定を求められており、市内の農業振興地域全域における農村環境計画を策定したいが、策定に当たっては、学識経験者や関係団体等の意見を幅広く聴取し、計画に反映させる必要があるため。

条例等
議案第122号 五島市単独住宅管理条例の一部改正について

提案理由 築年数が40年以上経過し、老朽化が著しい玉之浦地区の越首住宅G-2号を廃止するため。

問 ほかの単独住宅についても築年数が相当な期間経過していると思うが、現在の状況は。

答 設置している13戸の単独住宅のうち、越首住宅G-2号を除きすべて入居中で、現在のところ特に修繕等を行う予定はない。

審査結果

議案番号	件名	審査結果	議案番号	件名	審査結果
議案第103号	令和2年度五島市一般会計歳入歳出決算	認定	議案第121号	五島市附属機関の設置等に関する条例の一部改正について	原案可決
議案第104号	令和2年度五島市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算	認定	議案第122号	五島市単独住宅管理条例の一部改正について	原案可決
議案第105号	令和2年度五島市介護保険事業特別会計歳入歳出決算	認定	議案第123号	前島地区集会室の指定管理者の指定について	原案可決
議案第106号	令和2年度五島市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算	認定	議案第124号	岐宿墓地の指定管理者の指定について	原案可決
議案第107号	令和2年度五島市診療所事業特別会計歳入歳出決算	認定	議案第125号	生活館の指定管理者の指定について	原案可決
議案第108号	令和2年度五島市大浜財産区特別会計歳入歳出決算	認定	議案第126号	布浦集会所の指定管理者の指定について	原案可決
議案第109号	令和2年度五島市本山財産区特別会計歳入歳出決算	認定	議案第127号	生活支援ハウス及び高齢者生活福祉センターの指定管理者の指定について	原案可決
議案第110号	令和2年度五島市下水道事業特別会計歳入歳出決算	認定	議案第128号	貝津老人憩いの家の指定管理者の指定について	原案可決
議案第111号	令和2年度五島市公設小売市場事業特別会計歳入歳出決算	認定	議案第129号	玉之浦地区集会所の指定管理者の指定について	原案可決
議案第112号	令和2年度五島市港湾整備事業特別会計歳入歳出決算	認定	議案第130号	丹奈集会所の指定管理者の指定について	原案可決
議案第113号	令和2年度五島市交通船事業特別会計歳入歳出決算	認定	議案第131号	市民三井楽プールの指定管理者の指定について	原案可決
議案第114号	令和2年度五島市土地取得事業特別会計歳入歳出決算	認定	議案第132号	営農研修施設の指定管理者の指定について	原案可決
議案第115号	令和2年度五島市水道事業会計剰余金の処分及び決算	原案可決及び認定	議案第133号	里集落センターの指定管理者の指定について	原案可決
議案第117号	五島市職員定数条例等の一部改正について	原案可決	議案第134号	漁村センターの指定管理者の指定について	原案可決
議案第118号	五島市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正について	原案可決	議案第135号	令和3年度五島市一般会計補正予算（第8号）	原案可決
議案第119号	五島市国民健康保険条例の一部改正について	原案可決	議案第136号	令和3年度五島市国民健康保険事業特別会計補正予算（第3号）	原案可決
議案第120号	五島市教育に関する事務の職務権限の特例に関する条例の一部改正について	原案可決	議案第137号	令和3年度五島市介護保険事業特別会計補正予算（第3号）	原案可決
			議案第138号	令和3年度五島市診療所事業特別会計補正予算（第3号）	原案可決
			議案第139号	令和3年度五島市公設小売市場事業特別会計歳入歳出決算	認定
			議案第140号	五島市長及び副市長の給与に関する条例の一部改正について	原案可決
			議案第141号	令和3年度五島市一般会計補正予算（第9号）	原案可決
			議案第142号	令和3年度五島市一般会計補正予算（第10号）	原案可決
			議会議案第7号	離島振興法の改正・延長を求める意見書	原案可決
			議会議案第8号	トリガー条項凍結解除を求める意見書	原案可決
			決議第2号	気候非常事態宣言に関する決議	原案可決

意見書2件を国へ提出

「離島振興法の改正・延長を求める意見書」

現行の離島振興法が令和4年度末をもって失効することから、抜本改正の上、恒久法化も視野に入れて延長するよう国へ意見書を提出しました。

「トリガー条項凍結解除を求める意見書」

原油価格高騰から離島住民の生活を守るべく、東日本大震災以降凍結となっているトリガー条項の解除を行うよう国へ意見書を提出しました。

気候非常事態宣言に関する決議を可決

ゼロカーボンシティを目指す市の動きに呼応し、気候非常事態の克服に向けて行動するための第一歩として、五島市議会は「気候非常事態宣言」を行いました。



宣言の全文は市のホームページで確認できます。

賛否一覧表

○：賛成 ×：反対 -：欠席

会派・議員名 議案番号	令和創政会							市民ネットワーク			五島一新の会		公明会	芯風会	日本共産党	共生 みらい21	島民の会
	荒尾正登	片峰亨	神之浦伊佐男	宗藤人	谷川等	野茂勇司臣	柳田靖夫	網本定信	草野久幸	中西大輔	椿山恵三	丸田敬章	相良尚彦	三浦直人	江川美津子	山田洋子	松本晃
議案第103号 ～第105号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	×	○	○
議案第106号 ～第115号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第117号 ～第142号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議会議案第7号 ・第8号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
決議第2号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○



☆表紙の題字
「市議会だより」は、

富江六年
今村咲絵

さんの作品です。



☆表紙の題字
「ごとう」は、

福江五年
白濱こはな

さんの作品です。

インターネット議会中継

本会議の生中継、平成28年3月定例会以降の
本会議の映像を見ることができます。

3月定例会は3月2日(水)開会予定です。 <http://www.goto-city.stream.jfit.co.jp/>



編集後記

新春のお慶びを申し上げます。

毎回、市議会だよりをご愛読いただき、ありがとうございます。

月日がたつのは早いもので、昨年の市議会議員選挙からちょうど一年が経過しました。18名の新たな議員でスタートすると同時に、私たち議会広報特別委員会も新メンバーになり、これまでとはまた違う視点で、市民に分かりやすく読みやすい市議会だよりの作成に取り組んでおります。特に一般質問に関しては、質問者自ら掲載原稿を作成し、質問趣旨が伝わるように心がけております。各委員が審査状況も、限られた字数であります。議論された案件を的確に伝えてまいります。

議会広報特別委員会



委員長 山田 洋子 委員 柳田 靖夫
副委員長 中西 大輔 委員 荒尾 正登
委員 松本 晃 委員 谷川

なりませんが、9月定例会でのペーパーレス議会を目標にしておりますので、それまでにしっかりと操作を習得し、有効活用していきたいと思っております。議会改革につきましても、8年ぶりに議会への市民アンケートを実施させていただきました。その調査結果も、この紙面等を使って報告できたらと思っております。

(荒尾 正登)